



境二中のイメージ図

特に、施設面につきましては、早急な実施が望まれる校舎等の耐震改修や建替えに加え、老朽化対策として大規模改修等をおわせて実施するなど、義務教育施設の総合的な整備を今後5年間程度で計画しております。

この中で、耐震改修の必要のない誠道小学校を除く小学校6校の耐震改修と校舎大規模改修については、平成21年度の国の大型補正予算を活用して、本年の夏には完了できる予定であり、あわせて太陽光発電設備も全小学校に設置いたします。

中学校では、第一中学校校舎の耐震改修と大規模改修、冷暖房設備整備の実施設計を、さらに第二中学校については、校舎改築の基本設計を、それぞれ平成22年度に実施いたします。

整備計画の中では、耐震改修等に続いて、平成26年度に給食センターの建設を予定しておりますが、これにあわせて中学校給食を実施すべく、平成22年度にその具体的な実施方法や必要経費等について検討し、基本的な方向を定めることといたしております。

また、児童・生徒の体力向上等に効果のある「校庭の芝生化」につきましては、PTAをはじめ地域の方々との協働事業をめざして調整を進めておりましたところ、既に実施した誠道小学校に続き、他の小学校6校と第一中学校についても、平成22年度に実施できる運びとなつたところであります。

社会教育の充実

社会教育におきましては、市民の皆様へ、心を豊かにする文化的教養活動や、気持ちよく汗するスポーツ活動などを、できるだけ日常生活の中に取り入れていただくよう、生涯学習の啓発や普及に努めてまいります。

特に生涯読書の推進では、折りしも平成22年は国民読書年ですが、母子手帳交付時に絵本を贈る妊娠期からの読み聞かせ事業に始まり、学校での「朝読」、ファミリー読書をはじめとする

「家読（うちどく）」、大活字本等の普及による高齢者の読書など、胎児からお年寄りまで、生涯を通じた読書活動のさらなる拡大をめざして、その啓発を図つてまいります。



境港市読書活動推進大会

文化財保護につきましては、第4次文化財調査により、新たな文化財を指定し、大切に後世に引き継がれるよう、その保存と周知・アピールに努めてまいります。

あわせて、郷土の偉人や伝統芸能についても調査研究を進め、平成20年度に続き、「境港市の誇る先人たち」のパンフレットを発行する考えであります。

体育の振興につきましては、地域での体育振興会や体育指導委員などを中心とした市民の健康増進活動をはじめ、各種団体による中海圏域など周辺地域と

のスポーツ交流活動、さらには環日本海定期貨客船などを活用した国際スポーツ交流活動が、一層活発になるよう支援してまいりますと考えております。

また、社会教育施設におきましても、引き続き公民館の耐震診断調査を実施するとともに、中央テニスコートなど、施設改修に努めてまいります。

子育て支援の充実

現代社会における科学技術の進歩は、多くの便利さをもたらした一方で、親子のふれあいを希薄にしてしまう一面があります。本市では、特にこの点に着目して、親子がしっかりと絆を築き、共に健全に成長できるように、様々な施策を積極的に展開してまいりました。

赤ちゃんと保護者が小学校に出向き、児童と交流する「赤ちゃん登校日」は、平成19年度から実施しておりますが、赤ちゃん・保護者・児童、それぞれに大きな効果が得られていることから、赤ちゃんの持つ力が周囲に与える影響について考える全国大会「赤ちゃんサミット・イン境港」を開催し、全国にこの取り組みを発信していくこととしております。

また、幼稚園児の保護者に支

給しております就園奨励費を充実させることとしており、平成19年度から大幅に引き上げております保育所保育料や、新たに実施される「子ども手当」の支給とあわせ、子育て世代に対し経済的な支援をしていく考えであります。

このほか、「産後ヘルパー事業」を実施して出産後の母親の負担を軽減するとともに、妊婦健康診査の検査項目を増やすほか、「子育てサークル支援事業」として、子育てサークルの活動を補助して安定した運営を支援し、さらには、放課後児童クラブを市の直営とし、サービスの拡充と質的向上を図るなど、安心して子どもが産み育てられる環境づくりを一層推進することとしております。

障がい者福祉の充実

障がいのある方も地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

特に、障がいのある方の就労支援の一つとして、リサイクルセンターでの資源ごみのピン・缶を分別する業務について、平成22年度から「障害者就労継続支援事業所・つゆくさ」（米子市大篠津町）に、委託すること